

2021年4月30日

各位

会社名 株式会社日本M&Aセンター
代表者役職名 代表取締役社長 三宅 卓
(コード番号: 2127 東証第一部)
問い合わせ先 取締役副社長
管理本部長 檜木 孝磨
TEL 03-5220-5454

剰余金の配当（増配）及び設立30周年記念配当に関するお知らせ

当社は、2021年4月30日開催の取締役会において、以下のとおり、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うこと及び2022年3月期において設立30周年記念配当を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

この剰余金の配当（増配）は、2021年6月24日開催予定の第30回定時株主総会で正式に決定されます。

1. 剰余金の配当（増配）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年7月30日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	15円00銭	13円00銭	15円00銭
配当金の総額	2,478百万円	—	2,445百万円
効力発生日	2021年6月25日	—	2020年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 2021年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の配当金及び2021年3月期の配当金は、当該株式分割前の金額であります。これを仮に当該株式分割後に換算しますと、2020年3月期1株当たり期末配当金は7円50銭、2021年3月期1株当たり期末配当金は7円50銭となります。

(2) 理由

当社は株主の皆様に対する長期的な利益還元を経営の最重要課題と認識しており、配当性向約40%水準の配当を継続的に実施いたしたく考えております。

当社グループの2021年3月期の連結経営成績は、売上高36,130百万円（対前期比12.9%増）、営業利益16,408百万円（同15.2%増）、経常利益16,540百万円（同14.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11,415百万円（同11.1%増）と11期連続で過去最高益を更新することとなりました。

これに伴い、期末配当金を1株当たり2円増配し15円と修正し、以下の「(ご参考)年間配当の内訳」に記載のとおり1株当たり年間配当金を28円とするものであります。この結果、前年実績(2020年3月期)に比して年間2円の増配となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間
当期実績 (2021年3月期)	13円00銭	15円00銭	28円00銭
前期実績 (2020年3月期)	11円00銭	15円00銭	26円00銭

(注) 2021年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の配当金及び2021年3月期の配当金は、当該株式分割前の金額であります。これを仮に当該株式分割後に換算しますと、2020年3月期1株当たり年間配当金は13円、2021年3月期1株当たり年間配当金は14円となります。

2. 『設立 30 周年記念配当』について

当社は 1991 年 4 月 25 日に設立し、今年で設立 30 周年を迎えることが出来ましたのは、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様の長年にわたるご支援、ご協力の賜物と心からお礼申し上げます。

つきましては、株主の皆様に感謝の意を表すため、2022 年 3 月期の配当につきまして、1 株当たり年間 3 円（中間配当 2 円、期末配当 1 円）の設立 30 周年記念配当を実施することといたしました。

これにより、2022 年 3 月期の期末配当金は、本日公表いたしました 2021 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）にてお知らせいたしましたとおり、第 2 四半期末の普通配当 7 円及び記念配当 2 円、期末普通配当 8 円及び記念配当 1 円の合計 18 円の年間配当を予定しております。

また、当社では 2021 年 11 月 5 日に設立 30 周年を記念し「M&Aカンファレンス 2021」を予定しております。設立 30 周年に留まらず、今後も更なる成長・発展を期する当社グループの未来像を発信させていただく予定です。

以 上